

菱岡 憲司 HISHIOKA Kenji

研究分野：日本近世文学

キーワード：近世小説、日本文化

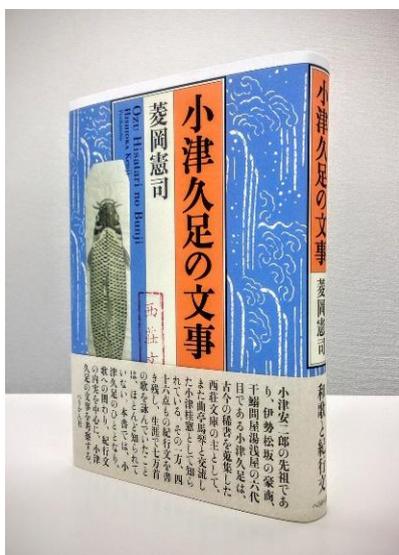


研究トピックス：

近世商人の文事研究

研究の要旨：

『南総里見八犬伝』で有名な江戸時代の戯作者曲亭馬琴と、その友人でもある小津久足を研究しております。小津久足は映画監督小津安二郎の先祖にあたります。小津久足は江戸時代の商人としては、当時指折りの蔵書家であり、日本における近代的な批評のはじまりとも称されるやりとりを、馬琴とともにいったことで知られています。



そして、47点にもものぼる紀行文を残しており、生涯で7万首の和歌を詠みました。そんな小津久足の知られざる文事（文学・文化に関わる営み）を研究してきました。そこから浮かび上がってきたのは、齒に衣着せぬ物言いで自由に自己主張を貫く、「個性」としか言いようのないパーソナリティです。そして、そうした「個性」は、馬琴その人や著作物にも共通して見出せるものです。こうした興味深い事実を、文献を読み解くことで見出し、さらには、同じ19世紀に発達した、西洋の近代小説との比較も視野に、「個」「私」の自己表出がどのように変遷していったのかを明らかにしたいと考えています。

主な関連業績：

菱岡憲司『小津久足の文事』（ペリかん社、2016）

菱岡憲司他編『小津久足紀行集（一）～（四）』（神道資料叢刊 14、2013～2019）

菱岡憲司他編『小津久足 陸奥日記』（東北文化資料叢書 11、2018）

菱岡憲司他編『小津久足資料集』（雅俗研究叢書 3、2019）

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)